

<全体分析>

試験時間 2科目 150分

解答形式

記述・論述

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・**やや増加**・増加)難易 (易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化)

出題の特徴

今年度は昨年度よりやや難化し、分量も増えた。

今年度は第1問有機はI、IIに分かれた。

典型的な有機の問題が出題されなかった。

その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

第1問IIで、教科書の記載とは異なるヨードホルム反応の生成物の構造が問われた。

第3問IIでマグマを題材とした問題が出題された。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
第1問					
I	記述、論述 計算	有機	化学	糖および糖の誘導体	標準
II	記述、計算	有機	化学	レブリン酸およびその誘導体の構造決定	やや難
第2問					
I	記述、計算 選択	理論、無機	化学基礎 化学	空気の成分分離と分析、 気体の性質・反応、人工光合成	標準
II	記述、論述 計算、選択	理論	化学基礎 化学	分子・イオンの電子式と構造、 CO ₂ の結晶構造	標準
第3問					
I	記述、論述 計算	理論	化学基礎 化学	トロナ鉱石の定量分析、炭酸の電離平衡、 緩衝液	標準
II	記述、論述 計算	理論、無機	化学	火山ガスを題材とした気体・密度・熱化学の計算、 平衡の移動、硫黄の析出反応	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

基礎力を確立するとともに思考力・応用力を養成すること。論述問題が多いので、「過去問」などを通じて、論理を明確に展開する力をつけておく必要がある。